

# 特許協力条約

PCT

国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条)  
〔PCT18条、PCT規則43、44〕

出願人又は代理人 の書類記号 373943W000	今後の手続については、様式PCT/ISA/220 及び下記5を参照すること。	
国際出願番号 PCT/J P 2019/045884	国際出願日 (日.月.年) 22. 11. 2019	優先日 (日.月.年) 03. 12. 2018
出願人 (氏名又は名称) ソニー株式会社		

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条 (PCT18条) の規定に従い出願人に送付する。  
この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で 5 ページである。

この国際調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

## 1. 国際調査報告の基礎

a. 言語に関し、この国際調査は以下のものに基づき行った。

出願時の言語による国際出願

出願時の言語から国際調査のための言語である \_\_\_\_\_ 語に翻訳された、  
この国際出願の翻訳文 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))

b.  この国際調査報告は、PCT規則91の規定により国際調査機関が許可した又は国際調査機関に通知された明らかな誤りの訂正を考慮して作成した (PCT規則43.6の2(a))。

c.  この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる (第I欄参照)。

2.  請求の範囲の一部の調査ができない (第II欄参照)。

3.  発明の単一性が欠如している (第III欄参照)。

4. 発明の名称は  出願人が提出したものを承認する。

次に示すように国際調査機関が作成した。  
\_\_\_\_\_

5. 要約は  出願人が提出したものを承認する。

第IV欄に示されているように、法施行規則第47条第1項 (PCT規則38.2) の規定により国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1月以内にこの国際調査機関に意見を提出することができる。

## 6. 図面に関して

a. 要約とともに公表される図は、

第 1 図とする。  出願人が示したとおりである。

出願人は図を示さなかったため、国際調査機関が選択した。

本図は発明の特徴を一層よく表しているため、国際調査機関が選択した。

b.  要約とともに公表される図はない。

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））  
 Int.Cl. B25J17/00(2006.01)i, B25J5/00(2006.01)i, F16F7/00(2006.01)i

B. 調査を行った分野  
 調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））  
 Int.Cl. B25J17/00, B25J5/00, F16F7/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2019年
日本国実用新案登録公報	1996-2019年
日本国登録実用新案公報	1994-2019年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	WO 2005/051612 A1（本田技研工業株式会社） 2005.06.09, 第11欄第19行-第12欄第20行, 第1図 & JP 4126063 B2 & JP 4126064 B2 & US 2007/0126387 A1 & US 2007/0013506 A1 段落 [0091] - [0095], 第1図 & US 2007/0152620 A1 & WO 2005/051608 A2 & WO 2005/051611 A1 & EP 1695799 A1 & EP 1698439 A2 & EP 1698440 A1 & KR 10-2006-0126647 A & KR 10-2006-0126649 A & KR 10-2006-0126650 A	1-8, 10, 14

C欄の続きにも文献が列挙されている。  パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー	の日の後に公表された文献
「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの	「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの	「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）	「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献	「&」同一パテントファミリー文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願	

国際調査を完了した日 05.12.2019	国際調査報告の発送日 17.12.2019
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁（ISA/JP） 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官（権限のある職員） 松井 裕典 電話番号 03-3581-1101 内線 3364
	3U 4657

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
	& KR 10-1112499 B & KR 10-1112500 B & KR 10-1112501 B	
Y A	US 2013/0218298 A1 (OTTO BOCK HEALTHCARE GMBH) 2013.08.22, 段落 [0026] - [0031], 第1図 & US 2015/0305894 A1 & WO 2012/062279 A2 & EP 2632392 A2 & DE 102010049257 A1 & CN 103189020 A & RU 2013124007 A	1-8, 10, 14 9, 11-13, 15
Y	JP 11-320461 A (ソニー株式会社) 1999.11.24, [要約] (ファミリーなし)	1-8, 10, 14
Y A	WO 02/078578 A1 (TOWNSEND, Barry, W.) 2002.10.10, 第8頁第8-23行, 第20頁第15行-第21頁第9行, 第28図 & JP 2004-530468 A & JP 2004-526508 A & JP 2004-526509 A & JP 2005-503840 A & JP 2006-500151 A & JP 2007-530236 A & JP 2007-530237 A & JP 2007-530238 A & JP 2007-530246 A & JP 2007-530245 A & JP 2008-501481 A & JP 2006-525820 A & US 2002/0143406 A1 & US 2004/0117036 A1 & US 2004/0186590 A1 & US 2004/0186592 A1 & US 2004/0225376 A1 & US 2006/0030950 A1 & US 2006/0185703 A1 & US 2007/0106397 A1 & US 2008/0281436 A1 & US 2002/0143408 A1 & US 2003/0028256 A1 & US 2003/0191540 A1 & US 2004/0122529 A1 & US 2005/0016572 A1 & US 2005/0177250 A1 & US 2005/0273179 A1 & US 2006/0178754 A1 & US 2007/0213841 A1 & US 2008/0183302 A1 & US 2007/0213840 A1 & US 8808395 B2 & US 2007/0219643 A1 & WO 2002/078566 A2 & WO 2002/078567 A2 & WO 2002/078577 A1 & WO 2004/028416 A1 & WO 2004/096104 A1 & WO 2005/097008 A2 & WO 2005/097009 A1 & WO 2005/097010 A2 & WO 2005/097011 A1 & WO 2005/097007 A2 & WO 2005/122973 A2 & WO 2006/107329 A1 & EP 1372548 A1 & EP 1372545 A2 & EP 1372546 A2 & EP 1372547 A1 & EP 1549265 A1 & EP 1613250 A1 & EP 1729696 A2 & EP 1729697 A1 & EP 1729698 A2 & EP 1729699 A1 & EP 1729695 A2 & EP 1765229 A2	4 1-3, 5-15

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2016-14301 A (旭化成ホームズ株式会社) 2016.01.28, 段落 [0036] (ファミリーなし)	5,7
Y	JP 2017-90180 A (株式会社免制震デバイス) 2017.05.25, 段落 [0020] - [0023], [図4] (ファミリーなし)	8
Y	竹中工務店、ソフトバンクロボティクス、ソフトバンクの3社で建設現場における Boston Dynamics 社の「SpotMini」の活用に向けた実証実験を実施 [オンライン], 2018.06.25, 第1図 [検索日 2019.12.04], インターネット: <URL : <a href="https://www.takenaka.co.jp/news/2018/06/01/index.html">https://www.takenaka.co.jp/news/2018/06/01/index.html</a> >	10
Y	WO 2017/212708 A1 (ソニー株式会社) 2017.12.14, 段落 [0013], [0020] - [0022], [図2] & US 2019/0142612 A1 段落 [0031], [0038] - [0041], 第2図	14
Y	JP 2013-86205 A (日本精工株式会社) 2013.05.13, 段落 [0030], [図5] (ファミリーなし)	14
A	US 5746773 A (UNITED STATES MANUFACTURING COMPANY) 1998.05.05, 第3 - 4図 (ファミリーなし)	1-15
A	JP 5-293776 A (本田技研工業株式会社) 1993.11.09, [図4] & US 5455497 A 第20図	1-15
A	WO 2014/076837 A1 (株式会社日立製作所) 2014.05.22, [図2A] (ファミリーなし)	4
A	福岡泰宏, 石島英紀, 不整地2足歩行ロボットのためのジャミング転移現象を利用した柔硬可変足底の開発, 第29回日本ロボット学会学術講演会予稿集DVD-ROM, 一般社団法人日本ロボット学会, 2011.09.07	9

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 2005-253127 A (日本電信電話株式会社) 2005.09.15, 段落 [0035], [図1] (ファミリーなし)	11